

事務事業チェックシート

事務事業No 784 事業名 子育て世帯臨時特例給付金事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針		

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		民生費
	項		児童福祉費
	目		子育て世帯臨時特例給付金費
	大事業		子育て世帯臨時特例給付金事業
	事項		子育て世帯臨時特例給付金事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	平成26年度	～ 平成27年度
事業実施の根拠法令	和歌山市子育て世帯臨時特例給付金支給事業実施規則	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	臨時福祉給付金課	内原 好教 (内線3410)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	平成26年4月から、消費税率（5%→8%）の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、臨時的な給付措置として子育て世帯臨時特例給付金を支給する。	①支給対象者・対象児童 ・平成26年度 平成26年1月分の児童手当・特例給付を受給し、かつ、平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方で、支給対象者の平成26年1月分の児童手当・特例給付の対象となる児童。 ただし、臨時福祉給付金の対象となる児童及び生活保護等の受給者となっている児童は除く。 ・平成27年度 平成27年6月分の児童手当（特例給付を除く。）の受給者及び要件を満たし、支給対象者の平成27年6月分の児童手当（特例給付除く。）の対象となる児童。 ②基準日・支給額 ・平成26年度（基準日 平成26年1月1日） 対象児童1人につき 10,000円 ・平成27年度（基準日 平成27年5月31日） 対象児童1人につき 3,000円 ③申請期間 ・平成26年度 平成26年7月1日～平成27年1月5日				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		○支給要件に当てはまる支給対象者に、子育て世帯臨時特例給付金の申請書、記載要領等を郵送する。 ○申請書受理→審査→支給・不支給決定→支給	○支給要件に当てはまる支給対象者に、子育て世帯臨時特例給付金の申請書、記載要領等を郵送する。 ○申請書受理→審査→支給・不支給決定→支給			

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費			484,073	387,599	189,444					
伸び率 (%)	-	-								
人件費	常勤職員		14,394	14,091	16,018					
	非常勤職員		1,342	1,350	1,678					
	小計		15,736	15,441	17,696					
国庫支出金			484,073	387,599	189,444					
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）										
所要人数	常勤職員		1.89	1.89	2.11					
	非常勤職員		0.91	0.91	1.14					
主な予算内訳										

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	広報活動（チラシ新聞折込）				年度目標値	140,950	140,950		
					実績値	140,950			
	単位	枚	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	子育て世帯臨時特例給付金の申請率				年度目標値	38,097	50,000		
					実績値	36,135			
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	95.0%			
					年度目標値				
				実績値					
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	
「見直し」 「改善」案	